

杜少府之任蜀州

王勃

大意

城闕輔三秦

城闕じょうけつ 三秦さんしんを輔ほし

君は三秦を従えた長安城を去り、

風煙望五津

風煙ふうえん 五津ごしんを望むむ

はるかな蜀の地へと去ってゆく。

與君離別意

君と離別りべつの意い

官職にある身では、別れは辛いが仕方がない。

同是宦遊人

同じく是れ宦遊かんゆうの人

天下には理解してくれる

海内存知己

海内かいだい 知己ちき存ぞんす

友人もいるのだから、

天涯若比鄰

天涯てんがい 比隣ひりんの若ごとし

天の果てに行っても隣同士でいるようなものだ。

無爲在岐路

岐路きろに在ありて爲なす無なけん

別れ道で女子供のように、

兒女共沾巾

兒女じじょと共に巾きんを沾うるすを

ハンカチを涙でぬらすのはよそつ。